



宇宙工学への興味をもってもらうために モデルロケット・ワークショップ

10月20日、北部中学校で、小型ロケットの開発を通じた人材育成や技術力向上に取り組む「SUWA小型ロケットプロジェクト(SRP)」が主催となり、モデルロケット・ワークショップが開催されました。

1年2部の生徒35名が参加し、ロケット工学について学んだ後、一人一台モデルロケットを作製しました。その後、生徒全員で大きな声でカウントダウンを行いながら、一人一人発射装置で打ち上げました。勢いよく飛び出し、高度100m近くにまで達したロケットに生徒たちはとても盛り上がっていました。



クイズに答えながら里山に親しむ 永明寺山ふれあいウォーク

10月22日、永明寺山ふれあいの森を創る会主催の「永明寺山ふれあいウォーク」が開催されました。17人が参加し、永明寺山ふれあいの森を会場にしたウォークラリーやチャレンジゲームなどを楽しみました。

ウォークラリーは、約3キロのコースに設置された10個の問題をグループで協力しながら解いて、ゴールを目指しました。ウォークラリーの後には、ポウリングを参考にしたチャレンジゲームを行い、得点を競いました。このほか、参加賞のお菓子のつかみ取りも行われました。天候にも恵まれ、参加者は秋の里山を満喫しました。



市長と語ろう！茅野市の今と未来をより良くするために まちづくり懇談会

10月20日、宮川地区コミュニティセンターで、まちづくり懇談会が開催されました。

まちづくり懇談会(通称「まち懇」)は、多くの市民の皆さんと市長が膝を交えて語り合う機会として開催されています。今年度は、特定のテーマを決めず、それぞれの地区ごと、抱えている課題などについてざっくばらんに意見を交わしました。

市内10地区とワークラボ八ヶ岳を会場に、全11回、11月下旬まで開催されました。



八ヶ岳西麓における新たな振興策を研究 八ヶ岳西麓地域共生会議 第1回学習会

10月4日、八ヶ岳西麓共同宣言に基づく施策を推進する会議「八ヶ岳西麓地域共生会議」が、環境・観光・農業の振興策に向けた学習会を市役所で開催しました。

第1回目となる今回は、農業分野を取り上げ、スーパーマーケット「ツルヤ」の掛川興太郎会長と日本ワインブドウ栽培協会代表理事の鹿取みゆきさんを講師に招き、ワイン造りなどについて話していただきました。講演後、茅野市長、原副村長、富士見町長を交えてのパネルディスカッションも行われました。



昔ながらの農機具を使って脱穀体験 多留姫文学自然の里「脱穀まつり」

10月15日、多留姫文学自然の里の「神田」で、脱穀まつりが開催され、子どもからお年寄りまで約30人が参加しました。

はぜ掛けされた稲を、歯と歯の間に稲を通してもみをとる「千歯こき」と、足踏みで回した針金つきのドラムに稲を当ててもみをとる「足踏み脱穀機」を使い、昔ながらの脱穀作業を体験しました。

参加者は、コンバインなどの機械を使わない脱穀作業の大変さを感じながらも、なかなか体験できない人力での脱穀作業を楽しんでいました。



～廻り舞台でつなぐ～地域と子どもたちの心 榎木の廻り舞台 秋の会

10月1日、茅野市泉野にある市有形文化財「榎木の舞台」で、「榎木の廻り舞台 秋の会」が3年ぶりに開催されました。

この舞台は、江戸時代末期の建築で、時代とともに損傷が進んでいましたが、国や県などの支援を受けて9年前に復活しました。

泉野分団ラッパ隊と子ども木遣りによる「御柱バージョン」で開演。八ヶ岳泉龍太鼓、やつがたけ民謡研究会、東部中学校吹奏楽部、柳川劇団、泉野小学校児童が出演し、多彩な出し物で、訪れた観客を楽しませていました。



災害時にも役立つ野外調理を体験 脱炭素のまちづくり実現に向けて No.3

10月1日、茅野市地球温暖化対策地域協議会主催で脱炭素社会を考えるイベントの第3弾「脱炭素のまちづくり実現に向けてNo.3」が、青少年自然の森で開催されました。

太陽光を熱源とする「ソーラークッカー」を使ってのふかし芋作りや牛乳パックを活用したホットドッグ作り、金属を擦り合わせて点火する「ファイヤースターター」を利用した火起こし体験など、災害時にも役立つエコな野外調理などを体験しました。また、東海大諏訪高校科学部によるサイエンスショーも行われました。